

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">コミュニケーション論</p>	<p>対象学科・学年 薬学部薬学1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">荻野 敦子</p>
<p>授業テーマ 対人援助とコミュニケーション</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>医薬分業が進むなか、これからの薬剤師には、薬学の知識のみならず、直接患者とその家族に対峙する対人援助職として、相手に誠実に向き合い、理解と思いやりを持って接し、信頼に足る専門家となる必要があります。</p> <p>本講では、対人関係とコミュニケーションについての心理学的基礎を学ぶと共に、会話と態度、相談援助とカウンセリングマインド等の体験的学習を通して、相手の心理とニーズ、置かれている状況を理解するための基本的知識、技能、心構えを習得し、将来の医療の担い手の一員として、患者や彼らを取り巻く人々との信頼関係を確立し得る薬学専門家の育成を目指します。</p>		
<p>評価方法</p> <p>講義中の小レポート、演習課題への取り組み、学期末試験の成績により総合的に評価します。 また、出席状況、受講態度も考慮します。</p>		
<p>テキスト</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書 対人援助とコミュニケーション</p>	<p>著者 諏訪 茂樹</p>	<p>出版社 中央法規</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>I コミュニケーションの基礎知識</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーションとは (1) ・対人コミュニケーション、言語・準言語・非言語的コミュニケーション</li> <li>2. コミュニケーションとは (2) ・非(準)言語的コミュニケーションの特徴と機能</li> </ol> <p>II コミュニケーションと対人関係</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間関係の心理学 (1) ・出会いの心理—印象形成</li> <li>2. 人間関係の心理学 (2) ・かかわりの心理</li> <li>3. 人間関係の心理学 (3) ・他者理解の手がかり</li> <li>4. 人間関係の心理学 (4) ・コミュニケーションスキル</li> <li>5. コミュニケーション効果 (1) ・情報伝達</li> <li>6. コミュニケーション効果 (2) ・メッセージの量と質</li> <li>7. コミュニケーション効果 (3) ・双方向コミュニケーション</li> </ol> <p>III 対人援助とコミュニケーション</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 相談援助とカウンセリング・マインド ・共感について</li> <li>2. コミュニケーション・テクニック (1) ・質問技法</li> <li>3. コミュニケーション・テクニック (2) ・応答技法</li> <li>4. コミュニケーション・テクニック (3) ・アクティブ・リスニング</li> </ol> <p>IV 今後の課題と展望 ・地域医療の担い手として</p> <p>V 学期末テスト</p>		